

THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

イマジン ローターリー



クラブの未来を描き
ロータリーを楽しもう

RI会長 ジェニファーE・ジョーンズ 2022～2023

富津中央RC会長 須藤 隆

国際ロータリー 第2790地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

No.2711 第32回例会 2023. 4. 6 曇時々雨

点 鐘：須藤 隆 会長

進 行：朝月真次郎 SAA

飯島由美 副SAA

ソング：君が代・四つのテスト

会長挨拶

須藤 隆 会長



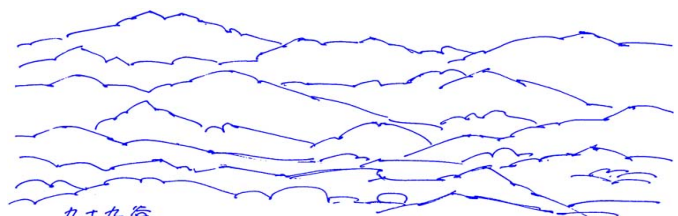
皆さんこんにちは。先週ロータリー創立30周年記念の満開の桜を会員の皆さんと共に楽しみました。その桜の下で敷物を敷いて、桜見物を楽しもうとするグループがありました。先輩ロータリアンが植樹した桜が、多くの人に楽しみを与えていることに一役買っていると思うとうれしくなりました。

3月13日からマスク着用が個人の判断に委ねられてから3週間ほどたちます。依然としてマスク着用の方が多く、しばらくはこの状態が続きそうです。一方、コロナ感染状況の推移については、一月初めに、東京、神奈川、埼玉、千葉の4都県の一日のコロナ感染者数は5万人程もおりましたが、2月半ばから、曜日によってばらつきはあるものの、2千人前

後と比較的安定した推移を示しておりました。ただ一昨日、昨日とやや増加傾向を示し、ちょっと心配の面もありますが、これ以上大幅に増えずに、コロナを季節性インフルエンザと同じ第5分類に移行することに決まっている連休明けの5月8日以降、コロナに対する不安が徐々に緩和されてくるのを期待したいと思います。

さて、4月1日に富津市にとって長年の念願だった図書館が開設されました。4月3日に早速、新装なった図書館に足を運び、ゆっくり時間をかけて内部をくまなく見て回りました。昨年11月17日の例会で、市役所職員から図書館の規模や内容について詳細な説明を受けていた通りの立派な図書館だと思いました。今まで富津市には図書館がなかったため、私は君津市の中央図書館をよく利用しました。富津市の図書館は新設ということもあり、蔵書数においては君津の図書館ほどありませんが、一通り書庫に収められている蔵書をざっと見た限りでは、手に取ってみたいくなる多くの本に巡り合いました。書籍はジャンル別に見やすく分類され、新聞や雑誌、月刊誌等の時流の情報源も多くあり、これから、憩いの場所としても大いに利用したくなりました。いくつになっても、誰でも新しい知識を得ることに喜びを感じるものです。私たちの身近に新しい情報を容易に得られる公共施設ができたことは、一市民としても大変ありがたい事であり、今後とも市民の情報源としてまた、憩いの場として大いに活用されること

〒293-0043 富津市岩瀬 841-3
いち川旅館
Ichikawa ryokan
841-3 Iwase Futtsu-shi Chiba-ken,
293-0043
Tel. 0439-65-0177 Fax. 0439-65-0178
URL <http://www.futtsuchuo-rotary.org>



が期待されます。長年の富津市民の願いが実現されたことを喜ぶとともに、この場で、図書館開設に尽力された多くの関係者に感謝を申し上げて挨拶とします。

幹事報告

相川恵津子 幹事

皆さんこんにちは。先週例会の後、30周年記念で植樹された桜を見に行ってきました。丁度満開でした。木も26年たったということで枝ぶりも良くお花見は格好の場所です。

明日7日は「子供食堂」があります。5周年記念ということでキャラクターのふつつん君も来てくださいます。ロータリーでは、マザー牧場の招待券とお花のプレゼントを用意しております。お手伝い出来る方は宜しくお願いします。

1. 地区ローターアクト5 1回年次大会案内。
2. 環境月間リソースの案内。
3. ロータリーの特別月間案内。
4. トルコ・シリア大地震義援金協力御礼報告。

誕生祝い



神子勝美S29. 4. 2

誕生一言

神子勝美 会員

誕生祝を頂き有難うございました。全ての面で、人間的に立派に成長していきたいと思っております。

結婚祝い



小野恒靖・玲子 S41. 4. 17

結婚一言

小野恒靖 会員

結婚祝いをいただきました。結婚生活も長くなりました。「初心忘れず」の言葉を糧に、お互いにいたわりあって末永く健康に過ごしていきたいと思っております。

卓話『日本舞踊に魅せられて』

栗原典子 会員



皆様こんにちは。今回の卓話は私の趣味であります日本舞踊についてお話をさせていただきます。まず始めに私が習っている「花柳流」についてお話させていただきます。「花柳流」は日本舞踊の五大流派(花柳、若柳、西川、坂東、藤間)の一流派で最も所属人数が多い組織です。嘉永二年に初代花柳芳次郎(後に花柳壽輔)によって創立され現五世まで受け継がれ組織を全国に発展させ古典舞踊の継承と共に時代に即して新しい舞踊を次々と生み出しています。初代は西川流で振付師を志していましたが、師匠の没後西川流を離れ、吉原で芸者たちに踊りを教えていることから「花柳流」という名称が付けられました。1849年初代花柳芳次郎と

して家元となり1860年花柳壽輔に改名しました。1500本の振り付けを残し、壽輔の技量と気質に勝海舟が惚れ込み、西郷隆盛と並べて賞賛したということです。

それでは次に私が日本舞踊を習うことになったきっかけをお話します。母は幼い時から踊りを習っていたそうです。母の舞う姿を小さい頃から見ただけで見様見真似でよく踊っていました。またスポーツが大好きでバスケットボール、陸上とスポーツ女子まっしぐらの青春時代を過ごし、高校の部活動引退を期に小さい頃からの音楽の先生になりたいという夢を叶える為、高校の音楽の先生にご指導いただき勉強もしましたが、父に猛反対され断念しました。そしてもう一つやりたかった日本舞踊を始めることになりました。最初は花柳寿維津先生に入門し、踊りだけでなく、着付け、所作までを教わり大変勉強になりました。富津市の文化祭や他の市での催し物などに出演しておりましたが、24歳の時に新宿朝日生命ホールにて初めての大舞台上で踊らせていただきました。リハーサルの時に人間国宝の花柳寿南海先生が「帯が変だから衣装屋さんの所に行って直してもらいなさい。」と言われ、直してもらって戻ってきたらすぐ幕が上がるというバタバタの一幕でした。そして二年後結婚をし、翌年長女を出産、長女が三歳で踊りを始め、次女も三歳で始めました。この頃には、今の先生であります花柳寿万佳代先生に入門し、親子三人でやるには、経済的に難しいので私は辞めました。長女が仕事上の都合により踊りを続けることが出来なくなり、私が復帰することになりました。日本舞踊は色々な人物を演じられる楽しさ、また体幹を鍛えることが出来るので怪我の予防にもなります。普段色気の気の字もない私が舞うことで少しは色っぽくなれるような気がします。やればやるほど色々な演目に挑戦したくなります。三年に一度君津市民会館に於きまして「恭扇会チャリティー踊りの会」(発表会)を開催しております。本来なら令和三年に開催予定でしたが、コロナ禍で延び延びになり、五年振りに6月25日(日)に開催することになりました。これに向けて娘と猛練習の最中です。演目は「三社祭」です。この踊りは運動

量が大変多いので62歳の私にとってこのような踊りは最後だと思っておりますので必死に取り組んでいます。当日は古典舞踊、新舞踊、民謡舞踊と皆様を飽きさせない趣向となっておりますので是非一度ご覧いただければ幸いです。最後に我がクラブで脈々と受け継がれております舞踊家の皆様のご紹介です。

卓話 『新憲法が出来るまで』

三枝一雄 会員



「戦後70年を迎えて」と題して執筆を始めて、その続編、いわゆる戦後編も3回目の発行となります。今回は日本国憲法の制定(大日本国憲法の改定)への歩みを中心となり、さらに左翼の台頭、総選挙による社会党の躍進、片山内閣の成立等が主な内容になっています。

戦後の新憲法公布(昭和22年5月3日施行)は多くの読者諸氏に取っては、歴史的事実として学んだと思います。筆者は旧制中学校2年生。「日本国民は再び戦争の惨禍が起こることのないようにすることを決意し・・・」と前文で謳いあげた戦争放棄、徹底した恒久平和主義は世界に先駆けた「平和憲法」として当時は高く評価されました。戦後の政界は多く革新派に期待が寄せられました。当時の知識人は殆どが支持しました。戦前・戦中の保守の大物は殆ど公職追放に遭って選挙に出られません。ラジオで社会党の勝利を聞いて新しい政治に期待したものでした。その頃の十代の少年はいつのまにか、90歳を過ぎました。日本の敗戦が最後で世界は平和になると思いきや、ロシアとウクライナはまだ戦争を続けています。期待された社会党がこれほど凋落するとは思っても見ませんでした。近隣諸国の善意に期待して平和が保てるわけでもなければ、

与党が墮落してけしからんといっても野党が清潔で良い政治が出来るわけでもありません。今、我が国では岸田内閣が大軍拡に舵を切ったとか、戦争が出来る国になって危険だとか、憲法9条を守って平和外交に徹すべきだとか色々な意見があります。意見はおおいにあって然るべきですが、その前に正しい歴史的事実を学び直した上で、判断し、行動することが大事だと気が付きました。「愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ」とビスマルクが言ったとか。老生が正しい歴史が書けるほど思い上がった気持ちはさらさらありませんが、戦中・戦後を生き残った最後の世代として、自ら学び直し、賢明な後進諸氏のご批判を頂きたいと思えます。

会員報告

岡元 誠 会員



地区研修競技会の配車を発表しました。

ニコニコBOX

星野 誠 親睦担当部員

- * 栗原典子 卓話をさせていただいて
- * 神子勝美 誕生祝をいただいて
- * 小野恒靖 結婚祝いをいただいて
- 相川恵津子 卓話を聞かせていただいて
- 飯島由美 //
- 若鍋武良 山下会員から本をいただいて
- 榎本守男 先週例会を欠席しました。卓話を聞けなくて残念でした。
- 三枝一雄 栗原会員へ
「春風に心通はず舞扇（まいおうぎ）」

かずを

* > 1, 000円 11, 000円

出席報告

白石幸久 出席担当部長



区分	会員数	出席	欠席	MUp	出席率
今回	24/29	15	0	2	80.00%
前回	23/29	15	0	3	79.31%
前々回	24/29	16	0	2	82.76%

理事会報告

1. 今後の日程
 - ①4/13 会員卓話 小野会員、久保会員
 - ②4/20 会員卓話 白石会員
 - ③4/27 外部卓話
 - ④5/4 休会
 - ⑤5/11 会員卓話 岡田会員
2. 30周年植樹記念標識建て替えの件
標識老朽化のため建て替えることとする。
3. カールスバットのRCとの連携について
当面は提携までは踏み込まず、双方の情報交換をメールで行う。先方との窓口を若鍋会員が担う。

本日の食事

